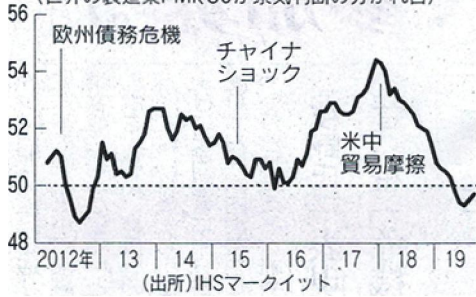


- 10/08・景気指数 (内閣府発表)、8月は4か月ぶり「悪化」 製造業の停滞響く < 1 >
外需低迷、景気にブレーキ 政府の公式判断「回復」 指数とズレ 経済対策に影響
- ・日米貿易協定に署名 来年1月にも発効 国会承認が条件
 - ・米、中国監視カメラ禁輸 ウイグル弾圧で制裁 貿易協議影響か
 - ・GMスト、4週目突入 労組硬化、損失1000億円規模
 - ・サムスン、営業益56%減 7~9月、6900億円 半導体の不振影響
 - ・経常収支黒字、8月2.1兆円 旅行収支の黒字、過去最大 < 2 >
- 10/09・世界GDP「0.8%失う」 貿易摩擦で IMF、見直し修正へ
- ・FRB、資産購入拡大 議長講演 NY株続落 米中摩擦懸念で終値313ドル安
- 10/10・強まるリブラ監視網 英中銀「事前の監督、適切に」
- ・米大統領選 民主党候補混戦に ウォーレン氏、初の首位 バイデン氏失速
 - ・トルコ、シリア空爆 クルド勢力標的 米軍撤収で混迷 テロ連鎖招く恐れ
- 10/11・米中が通商閣僚級協議 (ワシントン、2か月半ぶり) トランプ氏「よい交渉だった」
- ・FRB、金融規制を緩和 小規模銀行の自己資本制約軽減
- 10/12・米中、農産品など部分合意 貿易協議 対中関税引き上げ延期 < 3 >
- ・FRB、短期国債を月6.5兆円購入 金利の安定狙う マネー制御難しく
 - ・ノーベル平和賞 エチオピア、アビー首相 民族紛争解決に尽力
 - ・中国の対外投資が岐路に 欧州向け64%減 技術取得警戒される < 4 >
一帯一路は11%減 昨年、債務のワナ巡り自重か
 - ・イランのタンカー爆発 サウジ沖「ミサイル攻撃受けた」 < 5 >
 - ・リブラ発行時期、不透明に 米イーベイとビザ、参画見送り
- 10/13・米中、景気懸念で休戦 中国の産業補助金棚上げ 「第4弾」が焦点 < 6 >
- スマホなど関税撤回明言せず 家電など1000億ドル分の中国製品に15%の関税上乘せ
- ・中印、貿易拡大で一致 首脳会談 (ニューデリー、12日) 対米念頭に協調演出
 - ・RCEP閣僚会合 (バンコク、12日) 来月妥結向け協議 関税引き下げ中印焦点に
- 10/14・人材・資金「脱香港」の動き 混乱や政府の抑圧嫌気
- 6~8月預金4300億円シンガポールに流出試算 台湾への移住急増、居留許可47%増
- ・カリフォルニア州個人情報保護法 データ売却停止 企業に削除請求対応義務
来年1月施行 世帯情報も対象 初期対策費5.9兆円との試算も
 - ・台風19号、21河川で堤防決壊 東日本、広範囲で氾濫
 - ・日本、初の8強 ラグビーW杯 スコットランド破る

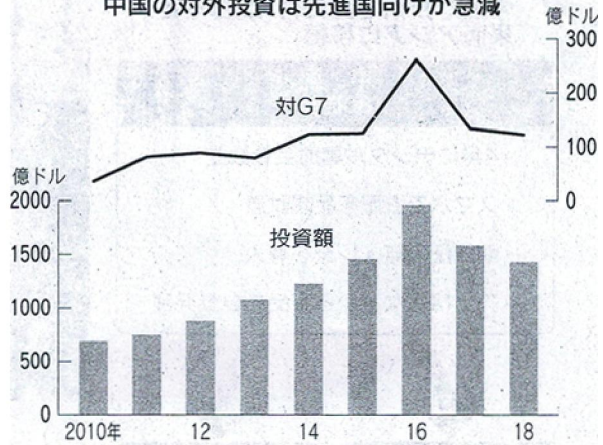
< 1 >

世界の製造業の景況感は18年以降急落
(世界の製造業PMI、50が景気判断の分かれ目)

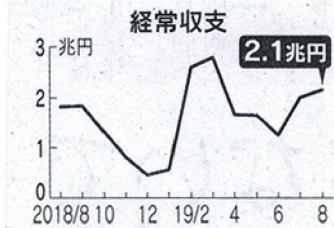


< 4 >

中国の対外投資は先進国向けが急減



< 2 >



8月の国際収支
(単位億円、カッコ内は前年同月比%、▲は赤字または減少)

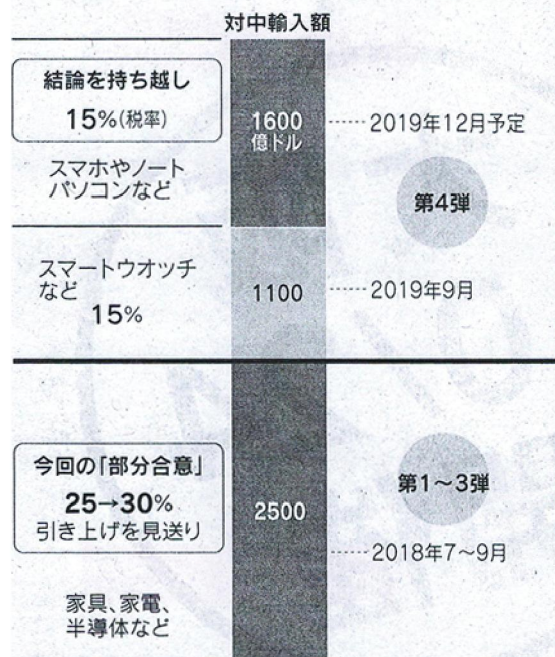
| | |
|-----------|-------------------|
| ▽経常収支 | 21,577 |
| 貿易・サービス収支 | 741 |
| 貿易収支 | 509 |
| 輸出 | 60,808 (▲8.6) |
| 輸入 | 60,299 (▲12.7) |
| サービス収支 | 233 |
| 旅行収支 | 1,518 |
| 知的財産権等使用料 | 2,901 |
| 第1次所得収支 | 22,681 |
| 第2次所得収支 | ▲1,846 |
| ▽資本移転等収支 | ▲1,018 |
| ▽金融収支 | 16,299 |
| ▽誤差脱漏 | ▲4,260 |

< 5 >



< 6 >

米中間の追加関税合戦の收拾は遠い



< 3 >

米中貿易協議のポイント

。中国が米農産品の購入拡大。知的財産権保護を強化し、金融分野の市場を開放
。米国は15日予定の中国からの輸入品2500億ドル分(約27兆円)への制裁関税引き上げを見送り
。中国は意図的な通貨安誘導を控える。米側は為替操作国認定を外すかどうかを精査
。ファーウェイへの禁輸措置緩和は今後協議(ワシントンII共同)